

4.総括研究報告書

課題 2 B

壊死組織を伴う組織の血行再建術後、または感染を伴う創における 創傷管理、洗浄を含む治癒促進法の検討

慢性創傷委員会（慢性褥瘡委員会）の許可を受けたケアミックス型病院における年間の慢性創傷（褥瘡）を調査し、慢性管理経過中にシャワー浴、入浴可能であった患者について、月毎の慢性創傷数、無添加ボディソープ（シャボン玉石けん株式会社、北九州市）を用いた洗浄による効果と非接触性組織血流測定計（Laser Speckle FlowGraphy, LSF、ソフトケア株式会社、福津市）について検討した。

ケアミックス病院での年間慢性創傷（褥瘡、足潰瘍）の発生数は51件であり、内訳は21件が持ち込みであり、30件が院内発生であった。転帰としては21件が治癒、退院1件、死亡退院6件であり、退院（死亡を含む）を除く治癒率は48.8%であり、期間中の発生率は2.25%であった。

無添加石けん（無添加ボディソープ）を用いてシャワー、温浴、入浴時に洗浄した患者は9件であり、平均年齢78.2歳であった。

慢性創傷は、数週以上にわたり創傷が継続する状態であり、特に高齢者では、体動不能、重篤な病状であり、患者背景や経緯から積極的な医療介入が困難なことが多い。今迄の研究報告は放射線照射直後の【石けん】の効果についての報告があるが、いずれも無添加石けんではなかった。また、グレード1及び2の術後褥瘡発生に石けんなどを用いた術前皮膚ケアの有無についてもエビデンスレベルは低いものであった。

本研究で使用した無添加石けんは天然油脂と苛性カリとの反応で石けんとグリセリンを生成するものであり、香料、酸化防止剤、着色料、合成界面活性剤などを用いておらず、グレープシードオイルなど植物性油脂を原料している。

今回の慢性創傷患者における無添加石けんによる洗浄効果は、slough など創傷中央部などに固着した壊死組織が除去され、検討症例すべてで創中央の血流が改善したという。

本研究により無添加石けんにより、創傷及び周囲皮膚への洗浄効果と血流改善効果が示された。今後更なる症例集積及び、比較試験などで確認を必要とするものの、この石けん洗浄が今後有望な慢性創傷管理方法であることが示された。